

- 2) 意思伝達と意思受信スキル(世間では Communication という)
- a) 伝える能力と理解する能力
 - b) 伝える意識・意欲と理解する(興味を持って相手を応援する)意識と意欲
 - c) 伝えたいメッセージを持つ
- この3つとも揃わないと成り立たないのが Communication
- 3) 多様性への a) 耐久力(忍耐)、b) 理解、c) 感謝 の3レベルを経ての成長
- 4) これらに基づくリーダーシップとイノベーション(違いを生む発想力と行動力)



への大学への進学を「やってみよう」「やりたい」「私でもやれるかも」と思い、動き始めた多くの高校生参加者が実際にいます。今その高校生、大学生の対応が忙しくもあり楽しくもあります。

今回、世間が言う「内向き世代」は実は若い世代ではなく、それを応援すべき大人世代なのだ、と感じるようになりました。「こんなに大人と話したの初めて」と言う声も多く聞かれました。世代間交流が少ない時代です。近所付き合ひも少ない、近所のおっちゃんにしかられることもない、じいさん、ばあさんと一緒に住んでいる子供も少ない。大学生ですら「大学に入ってから高校生と交流するの初めて」と言っているものが大半でした。

そんな中でも、Westwoodで時間を過ごす機会に恵まれた我々に出来ることがあると感

じます。実際に同窓会活動幹事の中には日中韓の学生によるビジネスコンテストの日本代表選考会の審査をしているような人達もいます。UCLA Extension Tokyo Center は始まったばかりですが、ビジネスコミュニケーションの本格的な指導を受ける場も用意されました。UCLA同窓会の日本における活動と存在意義を高めていく機会、次世代応援に関わる機会を、活動幹事が毎年一人一つずつ作っていきけるようになれば、それが我々にできる行動の Innovation だと感じます。まだの方々は活動幹事への参画もぜひ検討下さい。

加えて、IMPACT Foundation, Japan (<http://impactjapan.org/>) のように UCLA日本同窓会にゆかりの深い人たちがコアメンバーで取り組んでいるプラットフォームも出来ました。そこにこれからどんな活動をのせていけるのかも我々ひとりひとりがインパクトを作れると思うのです。留学支援はもちろんですが、グローバル社会で生きていく次世代の支援をこれからも皆さんとともに取り組んでいけることを願い、今年の総会に参加することを今から楽しみにしています。

このなかで「コミュニケーション」に挙げた3つのポイントのうち、いえ、この4つの項目の全てにおいて、2-a 以外に「英語力」は必要とされません。国内でも意識すれば出来るはずのものが大半です。しかしその土壌がないという現実があります。しかしながら、次世代に対して我々のような経験をしてきた大人ができることもあります。今年8月に初めて開催されたHCJILABサマースクールに、UCLA日本同窓会の黒川会長とともにアドバイザーとして参加する機会があり、7泊8日のとても濃い時間を高校生と大学生活動幹事と過ごした結果、今まで選択肢として考えていなかった海外

新刊著書

前会長村井勝氏の最新著書：会社の「強み」が企業を壊すとき
村井勝 著 日本経済新聞出版社 1,700円+税 2011年2月22日発行



日本IBMからコンパック日本法人初代表取締役を務められた村井勝さんは、ご自身のIT業界におけるサバイバル競争の最前線での経験を実体験に基づいて解説した本を出版されました。環境が変われば、かつての強みは変化を妨げる弱みとなるという誰かがわかっているにもかかわらず、いざその時になぜ対応できないのか。我が国の経済も戦後の復興期から高度成長を遂げましたが、その後世界情勢が大きく変化しているにも拘らず、過去の成功モデルの呪縛から解けずにいます。筆者がIBMとコンパックの異なる二つの企業の経営戦略で得た経験をもとに具体的なケースを取り上げつつ、現在の我が国の経済や企業経営の課題に焦点をあて、即行動を起こすよう促しています。その一つの例として我が国には

世界最先端の技術が先進欧米諸国より数多くあるにもかかわらず、それらを社会に還元する活動が世界で最も低調な国に指摘されています。

現在最先端技術集積地であるつくばエキスポ沿線の起業家の人的支援をするTXアントレプレナーパートナーズ (TEP) の代表として活躍されている村井さんは沿線の研究者・起業家と、メンター・エンジェル等ビジネスパートナーのチーム組成をサポートし、起業家を支援する環境を整備することにより、ベンチャー創業や成長を助ける志を持つ人たちの地域コミュニティを創り、成功モデルとなるようなベンチャー企業を輩出し、わが国のアントレプレナー活動の中心的役割を担っています。活動は起

業家会員、エンジェル会員、サポート会員、スポンサー会員に分かれ様々な角度から起業家を支援しています。www.tepweb.jp

